



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月20日

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドゥ  
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdo.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 龍也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二 TEL 048- 851- 3111  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月27日 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	4,885	0.1	51		59		38	
2019年3月期	4,889	10.8	24		22		22	

(注) 包括利益 2020年3月期 30百万円 ( %) 2019年3月期 20百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	15.96		11.5	2.4	1.1
2019年3月期	9.10		6.6	0.8	0.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

2019年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。  
 2020年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	2,494	355	14.2	145.40
2019年3月期	2,554	324	12.7	132.72

(参考) 自己資本 2020年3月期 354百万円 2019年3月期 324百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	12	93	59	360
2019年3月期	159	10	97	500

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的に外出や営業が制限されるとともに、日本においても政府より緊急事態宣言が発令され、消費や企業の経済活動が停滞する状況が続いています。現時点では収束時期の見通しは立っておりませんが、業績予想の合理的な算定は困難であることから、2021年3月期の業績予想を未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	2,540,642 株	2019年3月期	2,540,642 株
期末自己株式数	2020年3月期	99,200 株	2019年3月期	99,200 株
期中平均株式数	2020年3月期	2,441,442 株	2019年3月期	2,441,442 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	3,672	0.7	22		21		11	
2019年3月期	3,699	3.5	90		61		46	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	4.54	
2019年3月期	19.19	

2019年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。  
 2020年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	2,313		283		12.2		115.95	
2019年3月期	2,401		272		11.3		111.41	

(参考) 自己資本 2020年3月期 283百万円 2019年3月期 272百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 補足情報	17
売上高前年対比等	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、中国経済の減速、台風による甚大な被害、消費税増税や暖冬などの影響はあるものの、緩やかな回復基調を維持しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の過去に例を見ない全世界への拡大により、米国経済をはじめ、世界的な景気減速が鮮明になりつつあり、わが国も先行きが不安視されております。

リユース市場においては、市場の拡大傾向は当面続くものの、フリマアプリの定着化により、チャンネルを超えた競争が熱を帯びてきており、倒産やリユース企業間による買収が増加しております。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響も加わり、事業環境の急変は不可避の状況です。

ゴルフ用品市場においては、台風の影響が甚大であった10月以外は猛暑期間が短くかつ記録的な暖冬により、比較的恵まれた気候で推移しました。また、プロゴルフツアーでは大きな話題が豊富であり、一年を通して見れば悪い市場環境ではありませんでした。しかしながら、消費税増税や熾烈な競争に加え、新型コロナウイルス感染拡大が大きな影を落としており、生き残り競争への突入が懸念されます。なお、株式会社矢野経済研究所「Y P S ゴルフデータ」によりますと、新品クラブ及び用品類の販売は、4月～6月は各カテゴリーにおいて概ね前年実績を下回り、7月～9月は新製品発売や値下げ在庫の豊富なカテゴリーは前年実績を概ね上回り、9月は消費税増税の駆け込み需要効果もありました。10月～12月は10月が台風の影響により軒並み前年実績を下回るも、12月は人気ブランドの新製品発売で、カテゴリーによっては前年実績を大幅に上回り、1月～3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、軒並み前年実績を下回りました。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、1月～3月の利用者数前年同月比が、ゴルフ場は1月97.7%、2月113.5%、3月89.9%、練習場は1月106.8%、2月112.6%、3月99.5%でした。記録的な暖冬によりゴルファーの活動が活発化したようです。新型コロナウイルス感染拡大の影響に関しては、ゴルフ場では3月より影響が表れるものの、ゴルフ練習場では限定的であったと推測されます。

このような経営環境のなか、当社グループでは一年を通して業績の早期回復に向け取り組んでまいりました。4月にはアパレル事業の第1号店「シューラルーイオン栃木店」（栃木県栃木市）を出店し、結果は厳しい反面、今後の手応えを感じております。下半期には「ゴルフ・ドゥ！」直営店の粗利益率改善の効果が顕著に表れ、業績に大きく寄与しました。また、「オムニチャンネル戦略」においては、ECサイト再構築を2020年春から秋に変更し、万全の体制を整え慎重に準備を進めております。しかしながら、当社グループの業績回復は未だ途上のうえ、世界を震撼させている新型コロナウイルス感染拡大の影響が3月より表れ始め、業績回復の停滞を最小限にすべく努めておりますが、依然と緊張状態は続いております。

直営事業においては、6月にF C店からの転換、3月にはF C店への転換が1店舗ずつありました。また、10月の台風第19号の影響は大きいものの、暖冬によるゴルファーの意欲向上及び光熱費の減少などと併せ、前連結会計年度からの取り組みである粗利益率改善によって収益力が向上しました。しかしながら、3月には新型コロナウイルス感染拡大の影響が顕在化し業績回復に水を差された格好となりました。なお、当連結会計年度の「ゴルフ・ドゥ！」直営店の売上高前年増減率は、全店ベースで4.2%減、既存店ベースで6.2%減となりました。

フランチャイズ事業においては、9月と3月に開店と閉店がそれぞれの月で1店舗ずつあり、上述の直営事業とは立場が逆の転換が6月と3月に1店舗ずつありました。既存店では、買取り苦戦による在庫減少に悩まされ、店舗売上高及びそれに伴うロイヤリティ収入に影響が及んでおります。また、10月には消費税増税及び台風の影響があり、3月には新型コロナウイルス感染拡大の影響が表れ始めております。なお、当連結会計年度の「ゴルフ・ドゥ！」フランチャイズ店の売上高前年増減率は、全店ベースで2.7%減、既存店ベースで3.0%減となりました。

2020年3月31日現在の「ゴルフ・ドゥ！」は、直営店19店舗、フランチャイズ店60店舗で合計79店舗、当連結会計年度の売上高前年増減率は、全店ベースで3.2%減、既存店ベースで4.2%減となりました。

営業販売事業においては、国内ECモールに出店している「GOLF J-WINGS」は好調でしたが、需要が低迷している国内の卸営業は厳しい状況が続きました。

アパレル事業においては、4月に第1号店を開店し、11月及び12月は単月ベースで黒字になりましたが、その後は暖冬により冬物の不振に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による時短営業や卒業式及び入学式のセレモニー需要の低迷もあり、初年度は厳しい結果となりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は売上高48億85百万円（前連結会計年度は売上高48億89百万円）、営業利益51百万円（前連結会計年度は営業損失24百万円）、経常利益59百万円（前連結会計年度は経常損失22百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益38百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失22百万円）となりました。

当連結会計年度におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。なお、2019年4月にアパレル事業として「シューラルー」の展開を開始したため、当連結会計年度より同事業を報告セグメントに追加しております。

(直営事業)

当連結会計年度における直営事業の売上高は31億53百万円（前連結会計年度比3.9%減）、セグメント利益は1億19百万円（同513.4%増）となりました。

(フランチャイズ事業)

当連結会計年度におけるフランチャイズ事業の売上高は4億89百万円（前連結会計年度比1.2%増）、セグメント利益は1億39百万円（同7.1%減）となりました。

(営業販売事業)

当連結会計年度における営業販売事業の売上高は12億84百万円（前連結会計年度比4.9%増）、セグメント利益は56百万円（同0.6%減）となりました。

(アパレル事業)

当連結会計年度におけるアパレル事業の売上高は51百万円、セグメント損失は5百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ60百万円の減少となり、24億94百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ77百万円の減少となり、18億26百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億40百万円減少、売掛金が86百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ17百万円の増加となり、6億66百万円となりました。これは主に無形固定資産が67百万円、貸倒引当金が17百万円増加、繰延税金資産が14百万円減少したことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ91百万円の減少となり、21億39百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ67百万円の減少となり、15億13百万円となりました。これは主にその他流動負債に含まれる未払消費税等が28百万円、1年内返済予定の長期借入金が26百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ23百万円の減少となり、6億25百万円となりました。これは主に社債が20百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ30百万円の増加となり、3億55百万円となりました。これは主に利益剰余金が38百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は14.2%（前連結会計年度末は12.7%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による収入、投資活動による支出及び財務活動による支出の結果、3億60百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益、減価償却費、売上債権の増加等により、12百万円の収入となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、新店設備費用及びネット事業プログラム等の資産の取得による支出等により、93百万円の支出となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入、長期借入金の返済による支出等により、59百万円の支出となりました。

## （参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
自己資本比率 (%)	22.2	24.6	12.6	12.7	14.2
時価ベースの 自己資本比率 (%)	19.2	46.4	55.9	30.5	25.3
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年) *	17.0	—	16.2	9.2	115.0
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍) *	7.0	—	12.0	18.6	0.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注2）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注3）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

\* 2017年3月期は、有利子負債はありますがキャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、リユース市場においては市場の拡大とチャネルの多様化、ゴルフ用品市場においてはEコマースシフトの鮮明化は変わらぬものと推測いたしますが、新型コロナウイルス感染拡大に起因する業績への影響があまりにも不明瞭であり、合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の連結業績予想につきましては未定とさせていただきます、算定が可能となりましたら速やかに公表いたします。

## （新型コロナウイルス感染拡大に関するリスク）

新型コロナウイルス感染拡大に関するリスクにつきましては、店舗において実施中の感染拡大防止対策の一環である店舗の時短営業の長期化、従業員の感染に伴う勤務可能な従業員の減少及び一部店舗の休業、更なる感染拡大による全店レベルでの休業の可能性が挙げられます。また、併せて外部要因である来店客数の減少の更なる進行、取引先からの商品供給の遅延、停止及び仕入れ価格高騰の可能性が挙げられます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	500,515	360,345
売掛金	304,427	391,119
商品	1,032,097	1,008,894
短期貸付金	38,795	14,485
その他	59,798	59,569
貸倒引当金	△32,130	△8,180
流動資産合計	1,903,503	1,826,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	408,892	437,821
減価償却累計額及び減損損失累計額	△209,629	△230,956
建物及び構築物 (純額)	199,262	206,864
工具、器具及び備品	323,974	334,513
減価償却累計額及び減損損失累計額	△282,214	△295,856
工具、器具及び備品 (純額)	41,759	38,656
建設仮勘定	737	—
有形固定資産合計	241,760	245,521
無形固定資産		
その他	30,258	97,501
無形固定資産合計	30,258	97,501
投資その他の資産		
投資有価証券	19,000	11,974
長期貸付金	293,119	303,283
敷金及び保証金	160,987	161,149
建設協力金	76,158	52,740
繰延税金資産	30,401	15,976
その他	26,377	25,120
貸倒引当金	△229,048	△246,656
投資その他の資産合計	376,994	323,588
固定資産合計	649,013	666,611
繰延資産		
社債発行費	1,887	1,475
繰延資産合計	1,887	1,475
資産合計	2,554,404	2,494,321

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	292,515	293,928
短期借入金	800,000	801,566
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	220,360	194,108
未払法人税等	6,213	16,307
賞与引当金	18,781	19,350
ポイント引当金	35,022	34,419
株主優待引当金	12,669	11,045
その他	175,757	122,722
流動負債合計	1,581,318	1,513,449
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	342,226	327,866
退職給付に係る負債	123,262	128,635
資産除去債務	46,255	56,918
その他	57,161	52,318
固定負債合計	648,905	625,738
負債合計	2,230,223	2,139,187
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	506,120	506,120
資本剰余金	159,523	159,523
利益剰余金	△281,605	△242,650
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	285,830	324,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,746	△3,277
為替換算調整勘定	36,450	33,479
その他の包括利益累計額合計	38,196	30,201
新株予約権	153	146
純資産合計	324,181	355,133
負債純資産合計	2,554,404	2,494,321

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	4,889,111	4,885,437
売上原価	3,219,742	3,132,909
売上総利益	1,669,368	1,752,528
販売費及び一般管理費	1,694,345	1,701,219
営業利益又は営業損失(△)	△24,977	51,309
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	8,284	8,440
受取手数料	5,764	5,951
為替差益	961	—
貸倒引当金戻入額	—	6,861
その他	707	1,479
営業外収益合計	15,718	22,733
営業外費用		
支払利息	8,574	13,151
固定資産除却損	1,116	—
減価償却費	2,404	—
為替差損	—	35
その他	727	906
営業外費用合計	12,821	14,094
経常利益又は経常損失(△)	△22,079	59,948
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,371	—
店舗売却益	—	8,000
特別利益合計	9,371	8,000
特別損失		
減損損失	3,606	—
特別損失合計	3,606	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△16,314	67,948
法人税、住民税及び事業税	8,711	14,332
法人税等調整額	△2,813	14,660
法人税等合計	5,897	28,993
当期純利益又は当期純損失(△)	△22,211	38,955
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△22,211	38,955

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△22,211	38,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,973	△5,023
為替換算調整勘定	6,100	△2,971
その他の包括利益	2,126	△7,994
包括利益	△20,084	30,960
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△20,084	30,960
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	506,120	159,523	△259,394	△98,208	308,042
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△22,211		△22,211
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△22,211	—	△22,211
当期末残高	506,120	159,523	△281,605	△98,208	285,830

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,719	30,350	36,070	—	344,112
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					△22,211
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△3,973	6,100	2,126	153	2,280
当期変動額合計	△3,973	6,100	2,126	153	△19,930
当期末残高	1,746	36,450	38,196	153	324,181

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	506,120	159,523	△281,605	△98,208	285,830
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			38,955		38,955
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	38,955	—	38,955
当期末残高	506,120	159,523	△242,650	△98,208	324,786

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,746	36,450	38,196	153	324,181
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					38,955
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△5,023	△2,971	△7,994	△7	△8,002
当期変動額合計	△5,023	△2,971	△7,994	△7	30,952
当期末残高	△3,277	33,479	30,201	146	355,133

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△16,314	67,948
減価償却費	56,744	59,452
のれん償却額	700	2,033
長期前払費用償却額	2,297	3,252
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,654	△6,342
賞与引当金の増減額(△は減少)	407	647
ポイント引当金の増減額(△は減少)	345	△602
株主優待引当金の増減額(△は減少)	12,669	△1,623
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,978	5,372
受取利息及び受取配当金	△8,284	△8,440
支払利息	8,574	13,151
店舗売却益	—	△8,000
減損損失	3,606	—
売上債権の増減額(△は増加)	△22,588	△81,165
たな卸資産の増減額(△は増加)	243,303	21,768
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,913	2,975
未払金の増減額(△は減少)	6,735	△14,190
未払費用の増減額(△は減少)	2,179	△6,213
未払消費税等の増減額(△は減少)	30,310	△28,056
その他	△14,820	△10,863
小計	206,276	11,101
利息及び配当金の受取額	8,228	8,440
利息の支払額	△8,332	△13,950
法人税等の支払額	△47,047	△8,119
法人税等の還付額	—	14,728
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,125	12,201
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,963	△40,053
無形固定資産の取得による支出	△7,482	△80,995
投資有価証券の売却による収入	—	2,388
貸付金の回収による収入	13,340	14,145
敷金及び保証金の回収による収入	4,537	4,532
敷金及び保証金の差入による支出	△8,051	△4,712
建設協力金の回収による収入	11,358	11,590
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,260	△93,104
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	1,564
長期借入れによる収入	200,000	200,000
社債の発行による収入	97,775	—
長期借入金の返済による支出	△545,405	△240,612
社債の償還による支出	—	△20,000
新株予約権の発行による収入	153	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,475	△59,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,486	△219
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	55,875	△140,170
現金及び現金同等物の期首残高	444,639	500,515
現金及び現金同等物の期末残高	500,515	360,345

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に各事業本部を置き、取り扱う製品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

また、2019年4月にアパレル事業の「シューラルー」の展開を開始したため、当連結会計年度より同事業を報告セグメントに追加しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした販売・サービス別のセグメントから構成されており、「直営事業」、「フランチャイズ事業」、「営業販売事業」及び「アパレル事業」の4つを報告セグメントとしております。

「直営事業」は、中古ゴルフクラブの小売り及び買取りを中心とするゴルフリユースショップ「ゴルフ・ドゥ!」の直営店舗運営並びにECサイト「ゴルフ・ドゥ!オンラインショップ」及び「ゴルフウェアユーズド」の運営、「フランチャイズ事業」は、「ゴルフ・ドゥ!」のフランチャイズチェーン本部運営、「営業販売事業」は、ゴルフ用品の卸売り及びECモールに出店する「GOLF J-WINGS」の運営、「アパレル事業」は、アパレルの小売りチェーン「シューラルー」のフランチャイズ店舗運営を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,281,552	474,299	1,133,258	4,889,111	—	—	4,889,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,014	90,891	99,906	15,817	△115,723	—
計	3,281,552	483,314	1,224,150	4,989,017	15,817	△115,723	4,889,111
セグメント利益	19,535	149,735	56,365	225,636	798	△251,412	△24,977
セグメント資産	1,331,152	112,991	345,180	1,789,324	—	765,080	2,554,404
その他の項目							
減価償却費	36,306	7,796	586	44,690	—	9,650	54,340
のれんの償却額	700	—	—	700	—	—	700
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	24,789	5,425	117	30,332	—	6,806	37,138

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない広告代理店事業であります。

2. 調整額は以下の通りであります。

(1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

(3) その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分されていない全社費用及び全社資産であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計			
売上高								
外部顧客への売上高	3,153,227	478,659	1,202,073	51,477	4,885,437	—	—	4,885,437
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,658	82,089	—	92,747	6,640	△99,387	—
計	3,153,227	489,318	1,284,162	51,477	4,978,185	6,640	△99,387	4,885,437
セグメント利益又は損 失(△)	119,825	139,161	56,011	△5,966	309,033	106	△257,830	51,309
セグメント資産	1,265,931	227,928	401,715	36,395	1,931,971	—	562,349	2,494,321
その他の項目								
減価償却費	33,643	10,587	632	4,179	49,043	—	10,409	59,452
のれんの償却額	2,033	—	—	—	2,033	—	—	2,033
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	46,488	49,714	6,622	26,809	129,635	—	4,619	134,254

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない広告代理店事業であります。

2. 調整額は以下の通りであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

(3) その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分されていない全社費用及び全社資産であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	その他	合計
減損損失	3,606	—	—	—	3,606

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	合計
当期償却額	700	—	—	700
当期末残高	700	—	—	700

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
当期償却額	2,033	—	—	—	2,033
当期末残高	6,666	—	—	—	6,666

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	132.72円	145.40円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△9.10円	15.96円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△22,211	38,955
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△22,211	38,955
期中平均株式数(株)	2,441,442	2,441,442
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	(第5回新株予約権) 新株予約権1種類(新株予約権の数992個(普通株式99,200株))。	(第5回新株予約権) 新株予約権1種類(新株予約権の数942個(普通株式94,200株))。

## (重要な後発事象)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響)

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的に外出や営業が制限されるとともに、日本においても政府より緊急事態宣言が発令され、消費や企業の経済活動が停滞する状況が続いております。

これらの影響により、当社の財政状態及び経営成績に重要な影響を与える可能性があります。提出日現在において、影響額の合理的な算定は困難であります。

## 4. 補足情報

## 売上高前年対比等

当第4四半期及び当連結会計年度における「ゴルフ・ドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2020年1月	2020年2月	2020年3月	第4四半期合計 (1月～3月)	当期 (4月～3月)
ゴルフ・ドゥ！ 全店	98.0%	105.9%	97.6%	100.2%	96.8%
ゴルフ・ドゥ！ 既存店	98.6%	107.0%	97.2%	100.6%	95.8%
直営店 全店	94.9%	114.9%	101.9%	102.9%	95.8%
直営店 既存店	95.0%	110.4%	97.5%	100.3%	93.8%
FC店 全店	100.2%	100.8%	95.2%	98.6%	97.3%
FC店 既存店	101.2%	105.0%	97.0%	100.8%	97.0%

当第4四半期及び当連結会計年度における「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」売上高前年対比、アクセス数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2020年1月	2020年2月	2020年3月	第4四半期合計 (1月～3月)	当期 (4月～3月)
売上高前年対比	83.7%	89.2%	90.9%	87.8%	88.9%
アクセス数前年対比	86.0%	89.9%	84.2%	86.6%	86.8%
会員数（合計）					316千人
会員数前年増加率					107.3%

(注) 会員数は「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフ・ドゥ！」店舗の会員数とは異なります。